

令和2年度 相模台地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	ラジオ体操の集い [1]
申請団体	鶴ヶ丘団地 パープル会
事業目的等	地域の健康づくりの増進を図るため、団地に隣接する「ふれあい公園」で週4回ラジオ体操を行うとともに、年4回鶴ヶ丘団地の集会所にて、「100歳体操」を実施する。
交付決定日	令和2年4月14日
交付決定金額	50,000 円 (全体事業費 50,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績 毎週、日・月・水・金の8時より、ラジオ体操第1・ラジオ体操第2・ラジオ体操第1(2度目)の順に実行し、高齢者および地域住民の健康保持に資することができた。11月と3月にはラジオ体操指導員による体操の講習会を行った。また、12月から1月に5回にわたり百歳体操を実施した。</p> <p>自己評価 今年度は、会員の高齢化とコロナ禍の影響にもかかわらず、昨年度並みの平均参加人数を確保できた。地域住民の健康保持に資することに加え、住民同士の交流の場としても有効に機能している。</p>
市評価	<p>コロナ禍において、地域活動の停滞や住民関係の希薄化が危惧されている中、日々のラジオ体操や体操講習会、百歳体操などの積極的な活動により、地域の健康づくりの増進や住民同士の交流を深められたことを評価する。</p> <p>本活動の更なる発展のため、「屋外で間隔を取りながらできる」特性を生かし、参加者が増加するような工夫を凝らした取り組みにも期待したい。</p>
備考	

申請事業名	桜台美術館運営に関する事業 [2]
申請団体	桜台美術館運営委員会
事業目的等	<p>児童生徒の文化的感性の育成、地域住民間の文化交流と親睦による町おこしを実現するため、桜台小学校の空き教室(多目的ルーム)を利用し、桜台美術館を運営している。</p> <p>児童は自由に会場を訪れ展示の作品に触れることができ、また、各展示期間の日曜日を利用し1~2回の一般公開も実施している。</p>
交付決定日	令和2年4月14日
交付決定金額	80,000 円 (全体事業費 82,250 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>令和2年度は、世界中を震撼させたコロナ禍の中で当初計画のすべてを実施することはできなかった。当美術館は桜台小学校の教室の一部を使用した、生徒の学ぶ教室に近い立地条件の故、展示物への一般来訪者からの感染を危惧し極力一般の来場者を少なくしての実施を考え、相模原市の方針を加味したうえで当初10回の異なるグループの展示を予定していたが、規模を縮小し、2回の展示に止め生徒のみの鑑賞にした。</p> <p>第1回は前年度末展示の桜台小学校の元校長の展示を11月まで継続展示し、12月からは本年度計画の5回分の展示を合同展としてまとめ3月までの展示に変更した。そのため、今年度の展示は当美術館の目的である 児童生徒の文化的感性の育成、地域住民との文化交流と親睦による町おこしの実現、のうち残念ながら の地域住民との交流は果たすことが出来なかった。</p> <p>自己評価</p> <p>今年度の事業においては、当初計画のうち、地域住民との交流を通じた町おこしは果たすことが出来なかった。しかしながら、今回の合同展を通じて得られた内容から、次年度は緊急事態宣言緩和経緯の中で、今年度実施できなかった作品展を再度計画に挙げ実施し、当初の成果を得たいと考えている。</p>
市 評 価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業計画の変更を余儀なくされた中でも、合同展示の実施など、児童生徒の文化的感性を育むため、多くの作品に触れる機会を提供されたことを評価する。</p> <p>来年度に向けた活動についても十分に協議されていることから、感染症対策を徹底しつつ、事業の継続・発展を期待したい。</p>
備 考	

申請事業名	中学校と連携した自転車マナーアップ講習会 [3]
申請団体	相模台地区自治会連合会
事業目的等	麻溝台中学校と連携し、中学生をメインの対象とした自転車マナーアップ講習会を開催し、交通安全の意識を高め、交通ルールを守ることの大切さと無謀運転の危険性を学び、自転車の正しい乗り方などの安全指導の徹底を図るとともに、生徒だけでなく保護者・地域・警察・学校・行政等の団体間の連携強化を図る。
交付決定日	令和2年10月21日
交付決定金額	300,000 円 (全体事業費 300,595 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>[実施日] 令和2年12月4日(金) 2、3時間目(午前10時10分から11時45分まで)</p> <p>[場 所] 麻溝台中学校 校庭</p> <p>[参加者] 麻溝台中生徒:392名 先生:約20名</p> <p>[内 容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロのスタントマンによるスケアードストレイトの実施 ・防犯交通安全指導員による実演・講話 <p>当初は相模原南警察署の交通課職員による、地域で起こった事故の再現と講習を予定していたが、警察署においてコロナウイルス感染症が拡大したため、直前に変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習(自転車マナー検定)の実施。アンケート調査 <p>自己評価</p> <p>プロのスタントマンによる事故の再現で怖い、ヒヤッとした体験を通し交通安全意識を高め、交通ルールを守る大切さと無謀運転の危険性を学ぶことができ、安全指導の目的が達成できた。</p> <p>最近ニュースで、自転車事故による逮捕者や多額の賠償金支払いの事案を見聞きしているので、他人事として捉えている生徒は少なく、マナーアップの向上に繋がった。</p>
市 評 価	<p>相模台地区は自転車のマナー向上が課題で、日頃から交通安全の啓発活動を行っている。</p> <p>自転車に乗る機会の多い中学生を対象に、学校と連携し今回の事業を実施したことは、日頃の啓発活動に加えてさらなる安全意識の向上に寄与するものであった。地域課題解決の一助になる事業であり、来年度以降の実施についても期待したい。</p>
備 考	

申請事業名	コロナに負けるなイルミネーション事業 [4]
申請団体	相模台団地自治会
事業目的等	団地内の中央通路にある高さ16メートル程度のイチョウの立ち木を利用し、巨大なイルミネーションツリーを設置する。当該通路は居住者に加え、多くの学生・サラリーマンなどが通勤・通学で利用されているところで、こうした皆様にも少しでもコロナに負けず前向きな気持ちになってもらえるよう設置するもの。
交付決定日	令和3年12月3日
交付決定金額	142,000 円 (全体事業費 252,297 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>[点灯期間] 令和2年12月13日から令和3年1月末まで</p> <p>[点灯時間] 午後5時から午後8時</p> <p>[点灯場所] 団地内の中央通路にあるイチョウの立ち木</p> <p>自己評価 多くの住民の協力により設置し、また、「イルミネーションを見ると心があたたまります。」など、評価の声もたくさんいただいたことから、目的を達成したと考えている。 今後も団地の住民方々と「コロナに立ち向かおう」を合言葉に行事を進めて行こうと考えている。</p>
市評価	<p>コロナ禍において様々な事業が中止されている中、自治会内に留まらず地域を明るくしようと、「今できること」として、限られた期間の中で企画を検討し、事業を展開された行動力を評価する。</p> <p>地域住民からも好評を得て、また、屋外で来訪者も比較的距離を保てるなど時世に沿った事業であることから、地域の冬のイベントとして定着できるよう事業の継続を検討していただきたい。</p>
備考	